

**都市計画マスタープランおよび立地適正化計画のための
町民アンケート調査結果
【クロス集計】**

目次

1. クロス集計概要.....	1
2. クロス集計結果.....	2
(1) . 年齢別のクロス集計	2
(2) . 小学校区別のクロス集計	9
(3) . 満足度と重要度のクロス集計.....	20

1. クロス集計概要

町民アンケート調査結果について、特に必要と考えられる項目について、年齢及び居住地域（小学校区）によるクロス集計を行いました。

クロス集計を行った項目及び目的（狙い）は以下のとおりです。

■年齢別のクロス集計

No	設問概要	分析の目的（狙い）
1	現在の住みやすさ	これまでの精華町のまちづくりに対する評価を世代別で分析することによって、現状を継続的に維持すべき内容と改善していくべき内容に整理します。
2	「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点	
3	「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点	
4	20年後の定住意向	将来に渡って精華町に住み続けていただくために必要な施策を検討する上で注視していくべき内容を世代別に整理します。
5	「20年後の定住意向」への評価の理由：良い点（20年後）	
6	「20年後の定住意向」への評価の理由：悪い点（20年後）	
7	将来のまちづくりの方向性	

■小学校区別のクロス集計

No	設問概要	分析の目的（狙い）
8	自家用車の所有台数	各小学校区における、自家用車の重要度を確認します。
9	鉄道の利用頻度	現在の公共交通網の利便性を把握した上で、持続可能な公共交通網を検討するために整理します。
10	バスの利用頻度	
11	利用する施設の所在地	現在の施設配置（機能配置）による地域毎の状況を把握した上で、立地適正化計画における誘導区域を検討する内容として整理します。
12	現在の住みやすさ	これまでの精華町のまちづくりに対する評価を小学校区別で分析することによって、現状を継続的に維持すべき内容と改善していくべき内容に整理します。
13	「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点	
14	「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点	
15	20年後の定住意向	地域ごとの特色を最大限に活かしたまちづくりに向けて、将来に渡って精華町に住み続けていただくために必要な内容を小学校区別に整理します。
16	「20年後の定住意向」への評価の理由：良い点	
17	「20年後の定住意向」への評価の理由：悪い点	

■満足度と重要度のクロス集計

No	設問概要	分析の目的（狙い）
18	満足度・重要度	現在の精華町における「強み」と「弱み」を小学校区別で分析することによって、現状を継続的に維持すべき内容と改善していくべき内容を整理します。

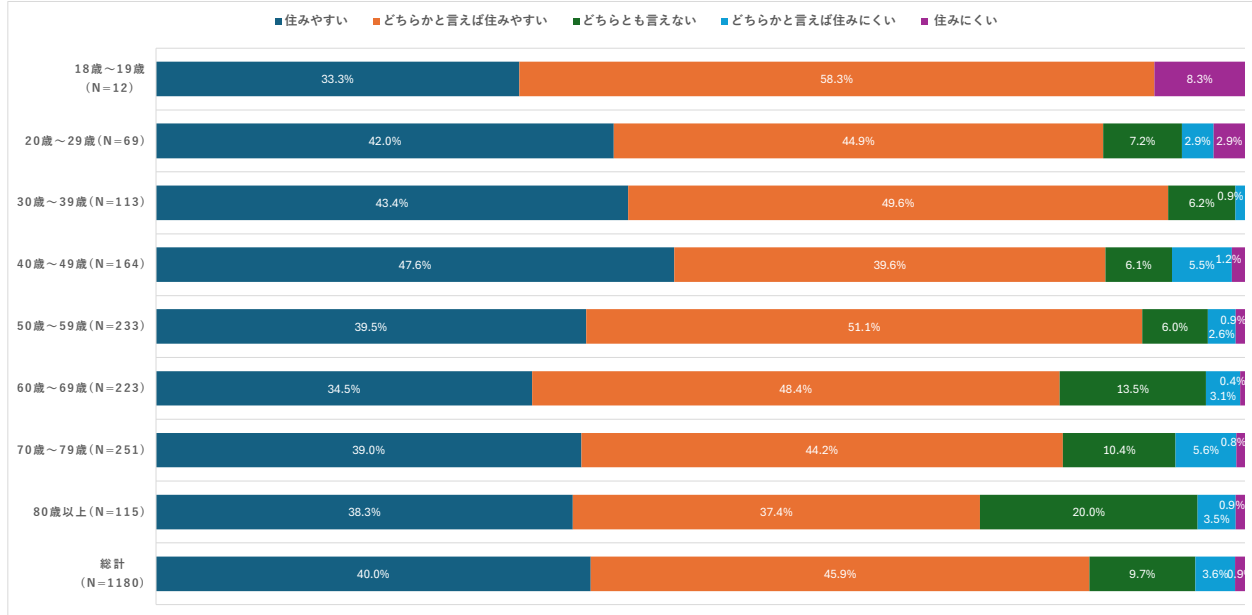
※構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

2. クロス集計結果

(1). 年齢別のクロス集計

1). N01_現在の住みやすさ

	18歳～19歳 (n=12)	20歳～29歳 (n=69)	30歳～39歳 (n=113)	40歳～49歳 (n=164)	50歳～59歳 (n=233)	60歳～69歳 (n=223)	70歳～79歳 (n=251)	80歳以上 (n=115)	総計 (n=1180)
住みやすい	33.3%	42.0%	43.4%	47.6%	39.5%	34.5%	39.0%	38.3%	40.0%
どちらかと言えば住みやすい	58.3%	44.9%	49.6%	39.6%	51.1%	48.4%	44.2%	37.4%	45.9%
どちらとも言えない	0.0%	7.2%	6.2%	6.1%	6.0%	13.5%	10.4%	20.0%	9.7%
どちらかと言えば住みにくい	0.0%	2.9%	0.9%	5.5%	2.6%	3.1%	5.6%	3.5%	3.6%
住みにくい	8.3%	2.9%	0.0%	1.2%	0.9%	0.4%	0.8%	0.9%	0.9%

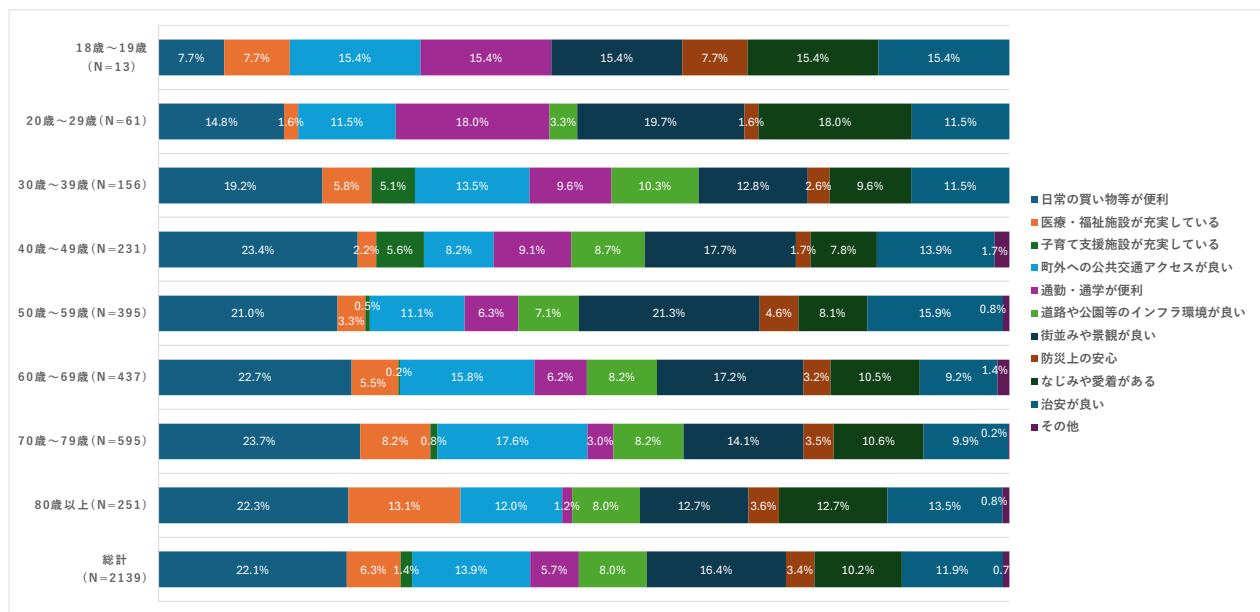


「現在の住みやすさ」について「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の肯定的な意見がどの世代でも7割を超えており、非常に多い結果となっています。

ただし、年齢が上がるにつれて、「どちらかと言えば住みやすい」が減少し、「どちらとも言えない」が増加する傾向も伺えます。

2). N02_「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点

	18歳～19歳 (n=13)	20歳～29歳 (n=61)	30歳～39歳 (n=156)	40歳～49歳 (n=231)	50歳～59歳 (n=395)	60歳～69歳 (n=437)	70歳～79歳 (n=595)	80歳以上 (n=251)	総計 (n=2139)
日常の買い物等が便利	7.7%	14.8%	19.2%	23.4%	21.0%	22.7%	23.7%	22.3%	22.1%
医療・福祉施設が充実している	7.7%	1.6%	5.8%	2.2%	3.3%	5.5%	8.2%	13.1%	6.3%
子育て支援施設が充実している	0.0%	0.0%	5.1%	5.6%	0.5%	0.2%	0.8%	0.0%	1.4%
町外への公共交通アクセスが良い	15.4%	11.5%	13.5%	8.2%	11.1%	15.8%	17.6%	12.0%	13.9%
通勤・通学が便利	15.4%	18.0%	9.6%	9.1%	6.3%	6.2%	3.0%	1.2%	5.7%
道路や公園等のインフラ環境が良い	0.0%	3.3%	10.3%	8.7%	7.1%	8.2%	8.2%	8.0%	8.0%
街並みや景観が良い	15.4%	19.7%	12.8%	17.7%	21.3%	17.2%	14.1%	12.7%	16.4%
防災上の安心	7.7%	1.6%	2.6%	1.7%	4.6%	3.2%	3.5%	3.6%	3.4%
なじみや愛着がある	15.4%	18.0%	9.6%	7.8%	8.1%	10.5%	10.6%	12.7%	10.2%
治安が良い	15.4%	11.5%	11.5%	13.9%	15.9%	9.2%	9.9%	13.5%	11.9%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.8%	1.4%	0.2%	0.8%	0.7%



※アンケート調査では、「住みやすさ」への評価の理由を「良い点」と「悪い点」を合わせて3つまで選択いただいた。

住みやすさについて「良い点」を世代別にみると、「18歳～19歳」では「町外への公共交通アクセスが良い」「通勤・通学が便利」「街並みや景観が良い」「なじみや愛着がある」「治安が良い」の5項目が、同率で15.4%と最も多くなっています。

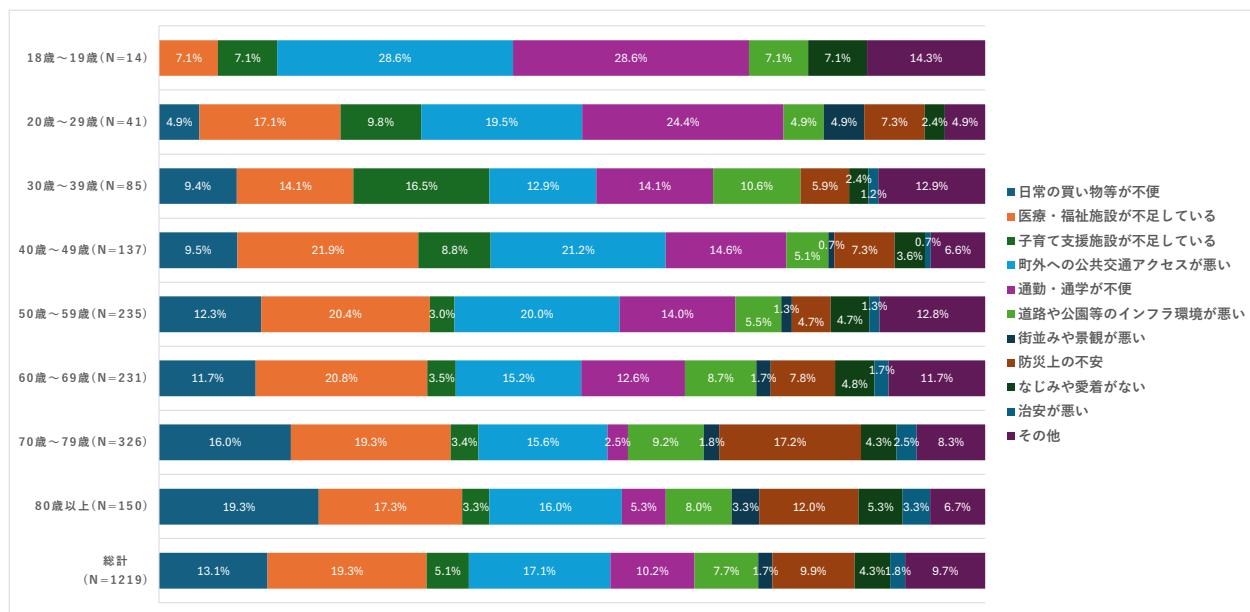
その他の世代では、「20歳～29歳」では「街並みや景観が良い」が19.7%、「30歳～39歳」では「日常の買い物等が便利」が19.2%、「40歳～49歳」では「日常の買い物等が便利」が23.4%、「50歳～59歳」では「街並みや景観が良い」が21.3%、「60歳～69歳」では「日常の買い物等が便利」が22.7%、「70歳～79歳」では「日常の買い物等が便利」が23.7%、「80歳以上」では「日常の買い物等が便利」が22.3%と最も多くなっています。

どの項目も概ね均等に回答されていますが、「子育て支援施設が充実している」や「通勤・通学が便利」の項目は利用する世代により回答率に差が生じています。

また、「防災上の安心」の項目は、どの世代でも回答率が低くなっています。

3). N03_「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点

	18歳～19歳 (n=14)	20歳～29歳 (n=41)	30歳～39歳 (n=85)	40歳～49歳 (n=137)	50歳～59歳 (n=235)	60歳～69歳 (n=231)	70歳～79歳 (n=326)	80歳以上 (n=150)	総計 (n=1219)
日常の買い物等が不便	0.0%	4.9%	9.4%	9.5%	12.3%	11.7%	16.0%	19.3%	13.1%
医療・福祉施設が不足している	7.1%	17.1%	14.1%	21.9%	20.4%	20.8%	19.3%	17.3%	19.3%
子育て支援施設が不足している	7.1%	9.8%	16.5%	8.8%	3.0%	3.5%	3.4%	3.3%	5.1%
町外への公共交通アクセスが悪い	28.6%	19.5%	12.9%	21.2%	20.0%	15.2%	15.6%	16.0%	17.1%
通勤・通学が不便	28.6%	24.4%	14.1%	14.6%	14.0%	12.6%	2.5%	5.3%	10.2%
道路や公園等のインフラ環境が悪い	7.1%	4.9%	10.6%	5.1%	5.5%	8.7%	9.2%	8.0%	7.7%
街並みや景観が悪い	0.0%	4.9%	0.0%	0.7%	1.3%	1.7%	1.8%	3.3%	1.7%
防災上の不安	0.0%	7.3%	5.9%	7.3%	4.7%	7.8%	17.2%	12.0%	9.9%
なじみや愛着がない	7.1%	2.4%	2.4%	3.6%	4.7%	4.8%	4.3%	5.3%	4.3%
治安が悪い	0.0%	0.0%	1.2%	0.7%	1.3%	1.7%	2.5%	3.3%	1.8%
その他	14.3%	4.9%	12.9%	6.6%	12.8%	11.7%	8.3%	6.7%	9.7%



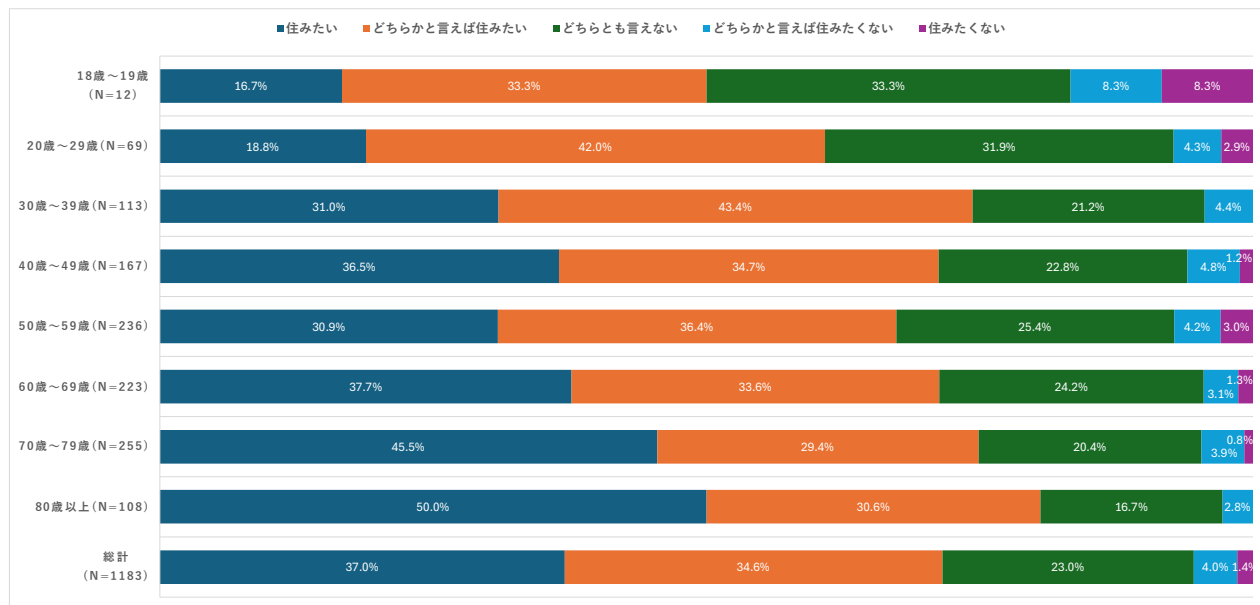
住みやすさについて「悪い点」を世代別にみると、「18歳～19歳」では「町外への公共交通アクセスが悪い」「通勤・通学が不便」が同率で28.6%、「20歳～29歳」では「通勤・通学が不便」が24.4%、「30歳～39歳」では「子育て支援施設が不足している」が16.5%、「40歳～49歳」では「医療・福祉施設が不足している」が21.9%、「50歳～59歳」では「医療・福祉施設が不足している」が20.4%、「60歳～69歳」では「医療・福祉施設が不足している」が20.8%、「70歳～79歳」では「医療・福祉施設が不足している」が19.3%、「80歳以上」では「日常の買い物等が不便」が19.3%と最も多くなっています。

年齢層が高くなると「日常の買い物等が不便」への回答が多くなる傾向にあります。

【No2_「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点】で、「日常の買い物等が便利」であると回答いただいた80歳以上の方も多かった一方で、【No3_「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点】でも「日常の買い物等が不便」と一定数の方が回答いただいているため、住んでいる地域(小学校区)によって差が生じている可能性が考えられます。

4). N04_20 年後の定住意向

	18歳～19歳 (n=12)	20歳～29歳 (n=69)	30歳～39歳 (n=113)	40歳～49歳 (n=167)	50歳～59歳 (n=236)	60歳～69歳 (n=223)	70歳～79歳 (n=255)	80歳以上 (n=108)	総計 (n=1183)
住みたい	16.7%	18.8%	31.0%	36.5%	30.9%	37.7%	45.5%	50.0%	37.0%
どちらかと言えば住みたい	33.3%	42.0%	43.4%	34.7%	36.4%	33.6%	29.4%	30.6%	34.6%
どちらとも言えない	33.3%	31.9%	21.2%	22.8%	25.4%	24.2%	20.4%	16.7%	23.0%
どちらかと言えば住みたくない	8.3%	4.3%	4.4%	4.8%	4.2%	3.1%	3.9%	2.8%	4.0%
住みたくない	8.3%	2.9%	0.0%	1.2%	3.0%	1.3%	0.8%	0.0%	1.4%

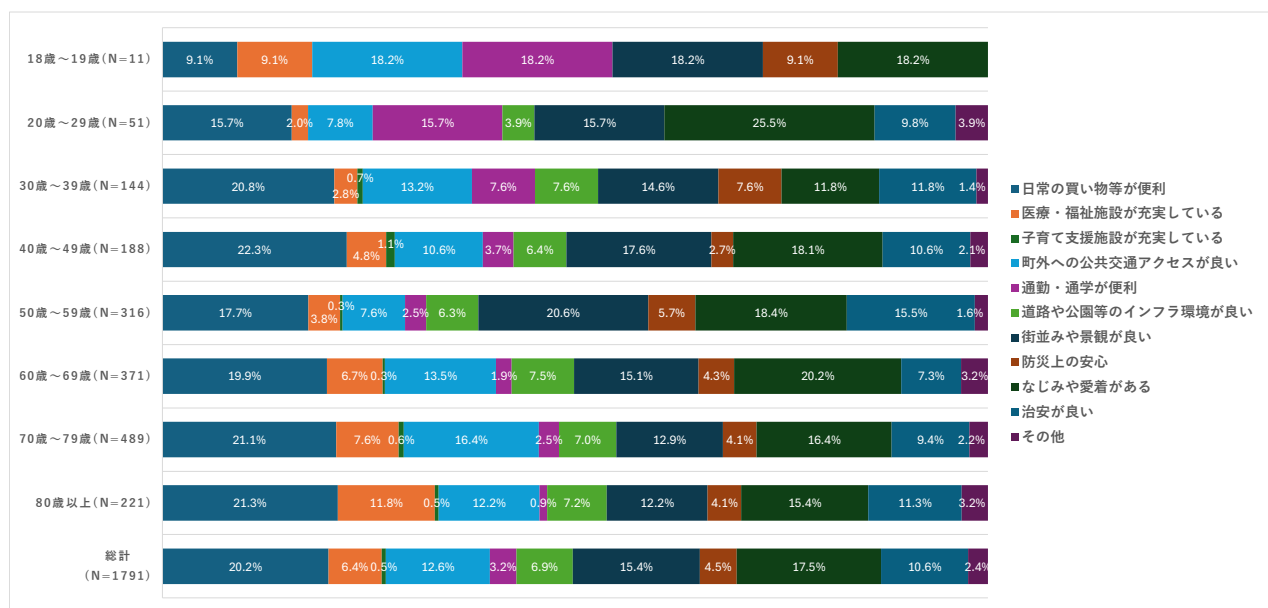


「20 年後の定住意向」について、全ての世代で「住みたい」、「どちらかと言えば住みたい」の回答の合計が 50%以上となっています。

また、年齢層が上がるにつれて、「住みたい」、「どちらかと言えば住みたい」の回答率は増える傾向にあることが分かります。

5). N05_「20年後の定住意向」への評価の理由：良い点

	18歳～19歳 (n=11)	20歳～29歳 (n=51)	30歳～39歳 (n=144)	40歳～49歳 (n=188)	50歳～59歳 (n=316)	60歳～69歳 (n=371)	70歳～79歳 (n=489)	80歳以上 (n=221)	総計 (n=1791)
日常の買い物等が便利	9.1%	15.7%	20.8%	22.3%	17.7%	19.9%	21.1%	21.3%	20.2%
医療・福祉施設が充実している	9.1%	2.0%	2.8%	4.8%	3.8%	6.7%	7.6%	11.8%	6.4%
子育て支援施設が充実している	0.0%	0.0%	0.7%	1.1%	0.3%	0.3%	0.6%	0.5%	0.5%
町外への公共交通アクセスが良い	18.2%	7.8%	13.2%	10.6%	7.6%	13.5%	16.4%	12.2%	12.6%
通勤・通学が便利	18.2%	15.7%	7.6%	3.7%	2.5%	1.9%	2.5%	0.9%	3.2%
道路や公園等のインフラ環境が良い	0.0%	3.9%	7.6%	6.4%	6.3%	7.5%	7.0%	7.2%	6.9%
街並みや景観が良い	18.2%	15.7%	14.6%	17.6%	20.6%	15.1%	12.9%	12.2%	15.4%
防災上の安心	9.1%	0.0%	7.6%	2.7%	5.7%	4.3%	4.1%	4.1%	4.5%
なじみや愛着がある	18.2%	25.5%	11.8%	18.1%	18.4%	20.2%	16.4%	15.4%	17.5%
治安が良い	0.0%	9.8%	11.8%	10.6%	15.5%	7.3%	9.4%	11.3%	10.6%
その他	0.0%	3.9%	1.4%	2.1%	1.6%	3.2%	2.2%	3.2%	2.4%



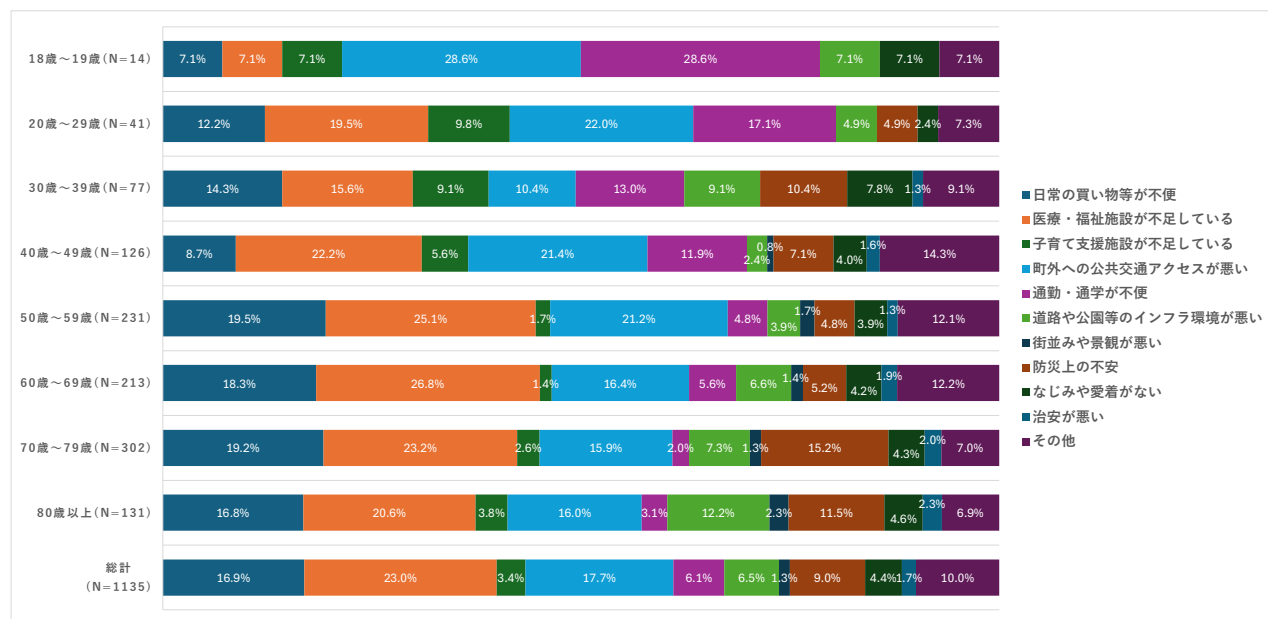
※アンケート調査では、「20年後の定住意向」への評価の理由を「良い点」と「悪い点」を合わせて3つまで選択いただいた。

20年後の継続居住意向の理由（良い点）については、各世代ともに【No2_「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点】と同じような回答傾向となっています。

このことから、各世代に応じた「現在の住みやすさ」を向上させることが、長期的な継続居住意向を向上させることにも繋がると考えられます。

6). N06_「20年後の定住意向」への評価の理由：悪い点

	18歳～19歳 (n=14)	20歳～29歳 (n=41)	30歳～39歳 (n=77)	40歳～49歳 (n=126)	50歳～59歳 (n=231)	60歳～69歳 (n=213)	70歳～79歳 (n=302)	80歳以上 (n=131)	総計 (n=1135)
日常の買い物等が不便	7.1%	12.2%	14.3%	8.7%	19.5%	18.3%	19.2%	16.8%	16.9%
医療・福祉施設が不足している	7.1%	19.5%	15.6%	22.2%	25.1%	26.8%	23.2%	20.6%	23.0%
子育て支援施設が不足している	7.1%	9.8%	9.1%	5.6%	1.7%	1.4%	2.6%	3.8%	3.4%
町外への公共交通アクセスが悪い	28.6%	22.0%	10.4%	21.4%	21.2%	16.4%	15.9%	16.0%	17.7%
通勤・通学が不便	28.6%	17.1%	13.0%	11.9%	4.8%	5.6%	2.0%	3.1%	6.1%
道路や公園等のインフラ環境が悪い	7.1%	4.9%	9.1%	2.4%	3.9%	6.6%	7.3%	12.2%	6.5%
街並みや景観が悪い	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.7%	1.4%	1.3%	2.3%	1.3%
防災上の不安	0.0%	4.9%	10.4%	7.1%	4.8%	5.2%	15.2%	11.5%	9.0%
なじみや愛着がない	7.1%	2.4%	7.8%	4.0%	3.9%	4.2%	4.3%	4.6%	4.4%
治安が悪い	0.0%	0.0%	1.3%	1.6%	1.3%	1.9%	2.0%	2.3%	1.7%
その他	7.1%	7.3%	9.1%	14.3%	12.1%	12.2%	7.0%	6.9%	10.0%

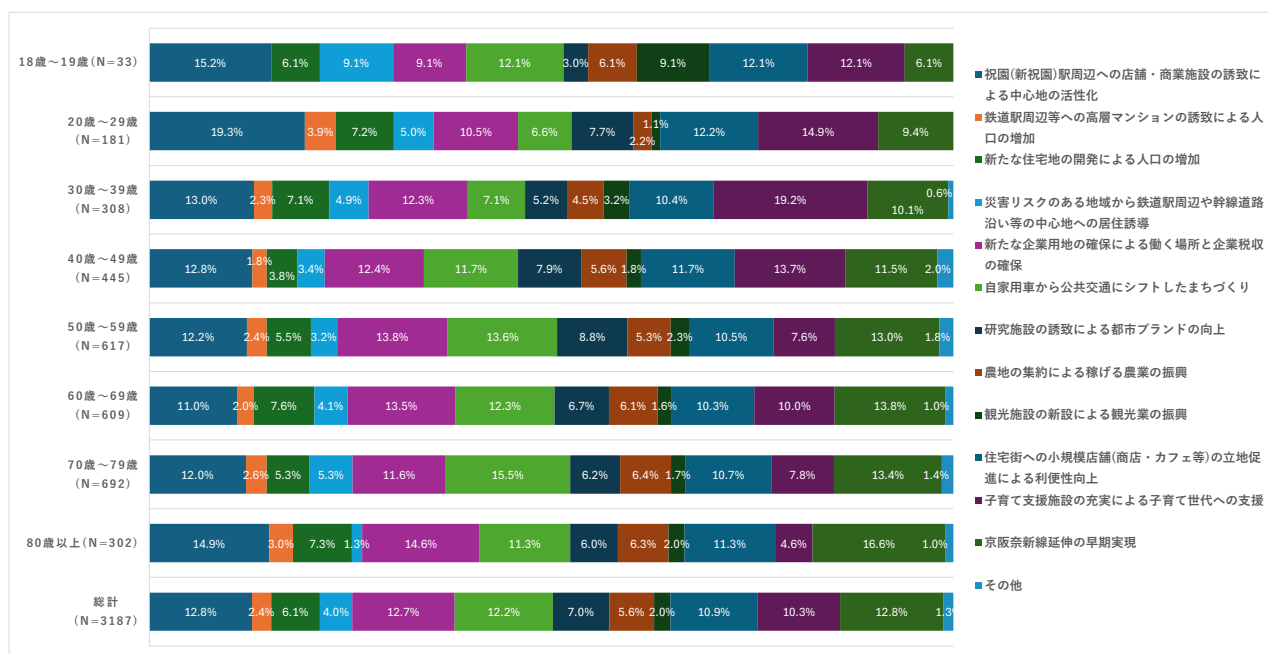


20年後の継続居住意向の理由（悪い点）についても、【No3_「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点】と比べると、各世代ともに概ね同じような回答傾向となっていますが、40～49歳及び80歳以上の世代を除く全ての世代において、「日常の買い物等が不便」の回答率が増加しています。また、18～19歳を除く全ての世代において、「医療・福祉施設が不足している」の回答も若干増加しています。

これらのことから、現時点では不安を感じていなくても、長期的な継続居住を検討する際には、日常の買い物施設や医療・福祉施設の立地状況に不安を感じる方が若干多くなる傾向が伺えます。

7). N07_将来のまちづくりの方向性

	18歳～19歳 (n=33)	20歳～29歳 (n=181)	30歳～39歳 (n=308)	40歳～49歳 (n=445)	50歳～59歳 (n=617)	60歳～69歳 (n=609)	70歳～79歳 (n=692)	80歳以上 (n=302)	総計 (n=3187)
祝園(新祝園)駅周辺への店舗・商業施設の誘致による中心地の活性化	15.2%	19.3%	13.0%	12.8%	12.2%	11.0%	12.0%	14.9%	12.8%
鉄道駅周辺等への高層マンションの誘致による人口の増加	0.0%	3.9%	2.3%	1.8%	2.4%	2.0%	2.6%	3.0%	2.4%
新たな住宅地の開発による人口の増加	6.1%	7.2%	7.1%	3.8%	5.5%	7.6%	5.3%	7.3%	6.1%
災害リスクのある地域から鉄道駅周辺や幹線道路沿い等の中心地への居住誘導	9.1%	5.0%	4.9%	3.4%	3.2%	4.1%	5.3%	1.3%	4.0%
新たな企業用地の確保による働く場所と企業税収の確保	9.1%	10.5%	12.3%	12.4%	13.8%	13.5%	11.6%	14.6%	12.7%
自家用車から公共交通にシフトしたまちづくり	12.1%	6.6%	7.1%	11.7%	13.6%	12.3%	15.5%	11.3%	12.2%
研究施設の誘致による都市ブランドの向上	3.0%	7.7%	5.2%	7.9%	8.8%	6.7%	6.2%	6.0%	7.0%
農地の集約による稼げる農業の振興	6.1%	2.2%	4.5%	5.6%	5.3%	6.1%	6.4%	6.3%	5.6%
観光施設の新設による観光業の振興	9.1%	1.1%	3.2%	1.8%	2.3%	1.6%	1.7%	2.0%	2.0%
住宅街への小規模店舗(商店・カフェ等)の立地促進による利便性向上	12.1%	12.2%	10.4%	11.7%	10.5%	10.3%	10.7%	11.3%	10.9%
子育て支援施設の充実による子育て世代への支援	12.1%	14.9%	19.2%	13.7%	7.6%	10.0%	7.8%	4.6%	10.3%
京阪奈新線延伸の早期実現	6.1%	9.4%	10.1%	11.5%	13.0%	13.8%	13.4%	16.6%	12.8%
その他	0.0%	0.0%	0.6%	2.0%	1.8%	1.0%	1.4%	1.0%	1.3%



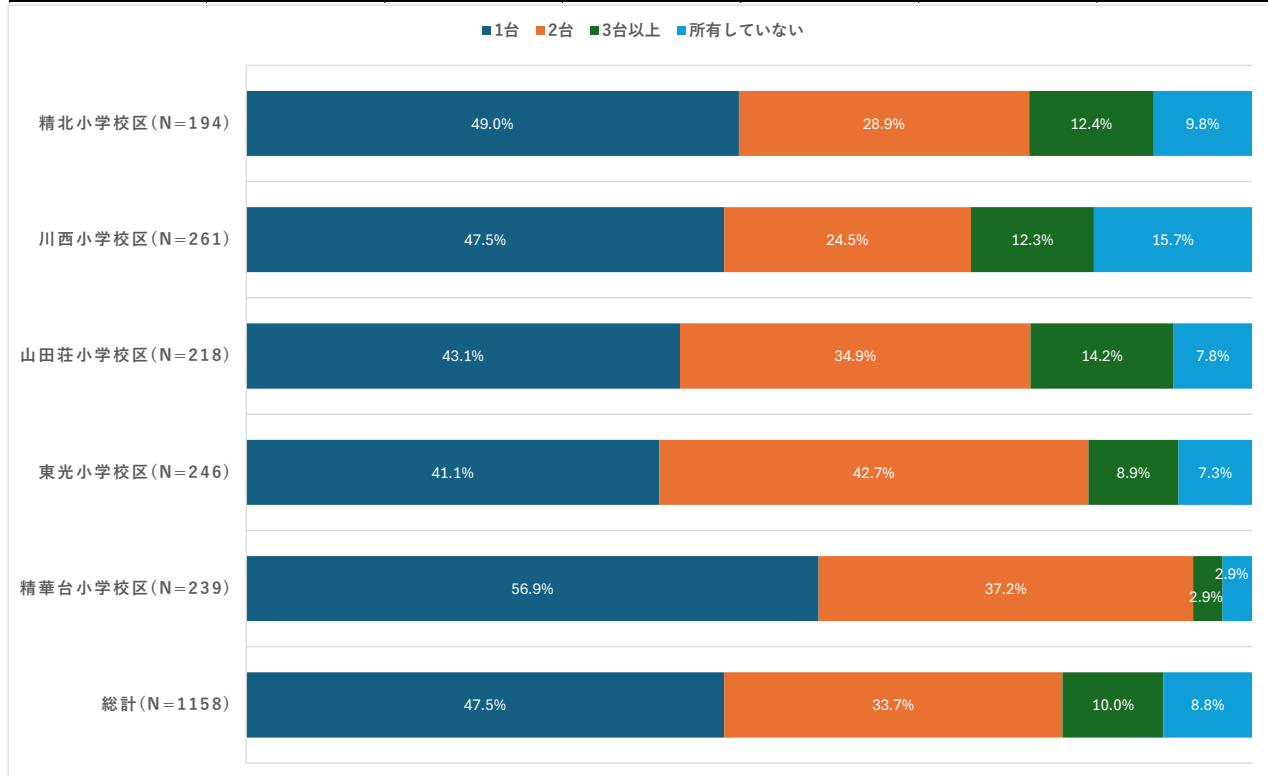
目指すべきまちづくりの方向性について世代別にみると、「18歳～19歳」では「祝園(新祝園)駅周辺への店舗・商業施設の誘致による中心地の活性化」が15.2%、「20歳～29歳」では「祝園(新祝園)駅周辺への店舗・商業施設の誘致による中心地の活性化」が19.3%、「30歳～39歳」では「子育て支援施設の充実による子育て世代への支援」が19.2%、「40歳～49歳」では「子育て支援施設の充実による子育て世代への支援」が13.7%、「50歳～59歳」では「新たな企業用地の確保による働く場所と企業税収の確保」が13.8%、「60歳～69歳」では「京阪奈新線延伸の早期実現」が13.8%、「70歳～79歳」では「自家用車から公共交通にシフトしたまちづくり」が15.5%、「80歳以上」では「京阪奈新線延伸の早期実現」が16.6%で最も多くなっています。

29歳以下の若年層では駅周辺の賑わいづくりや活性化、30～40歳代の子育て世代は子育てに関する支援施策、50歳以上では京阪奈新線延伸等の公共交通に関する意見が多い傾向にあります。

(2). 小学校区別のクロス集計

1). N08_自家用車の所有台数

	精北小学校区 (n=194)	川西小学校区 (n=261)	山田荘小学校 区(n=218)	東光小学校区 (n=246)	精華台小学校 区(n=239)	総計(n=1158)
1台	49.0%	47.5%	43.1%	41.1%	56.9%	47.5%
2台	28.9%	24.5%	34.9%	42.7%	37.2%	33.7%
3台以上	12.4%	12.3%	14.2%	8.9%	2.9%	10.0%
所有していない	9.8%	15.7%	7.8%	7.3%	2.9%	8.8%

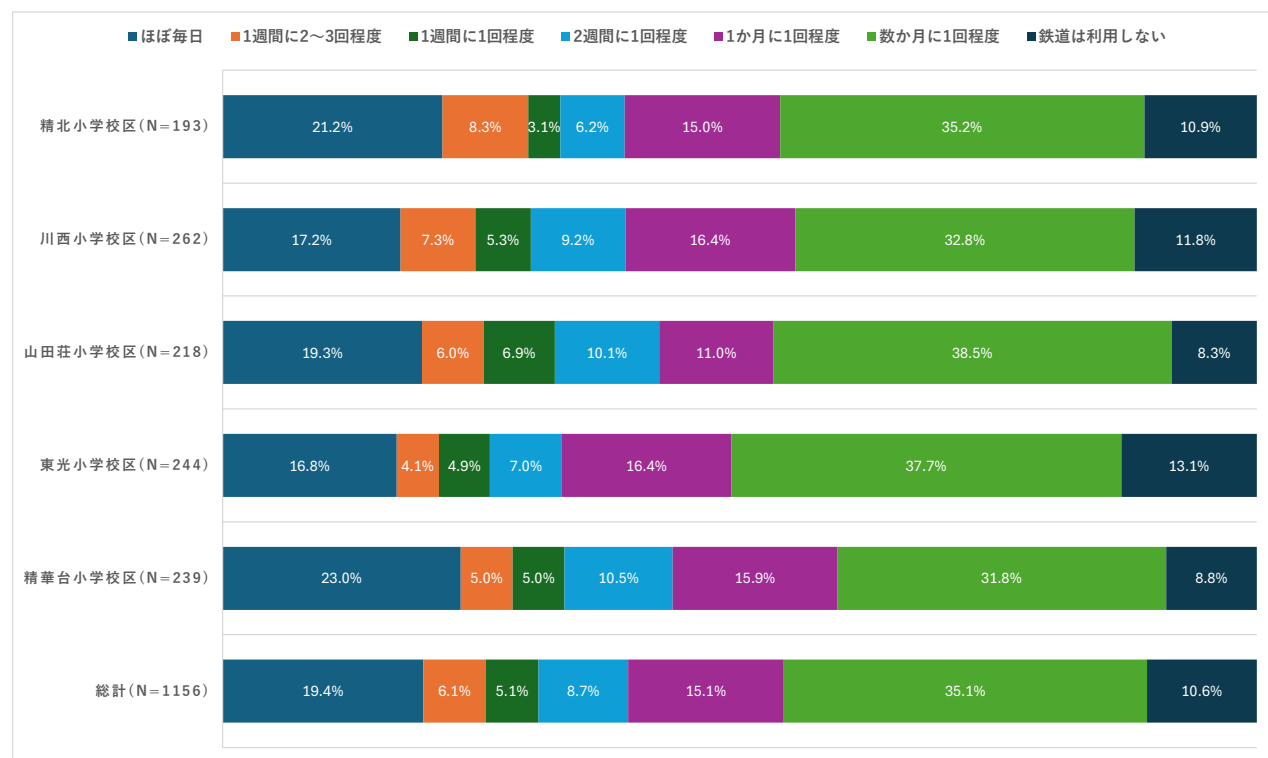


自家用車所有状況を小学校区別でみると、ほとんどの小学校区で「1 台」が最も多いですが、「東光小学校区」のみ「2 台」が最も多くなっています。

なお、「川西小学校区」では「所有していない」の回答が他の小学校区と比べて比較的多いことから、自家用車を使わなくても日常生活を過ごせる環境が整っている可能性が考えられます。

2). N09_鉄道の利用頻度

	精北小学校区 (n=193)	川西小学校区 (n=262)	山田荘小学校 区(n=218)	東光小学校区 (n=244)	精華台小学校 区(n=239)	総計(n=1156)
ほぼ毎日	21.2%	17.2%	19.3%	16.8%	23.0%	19.4%
1週間に2～3回程度	8.3%	7.3%	6.0%	4.1%	5.0%	6.1%
1週間に1回程度	3.1%	5.3%	6.9%	4.9%	5.0%	5.1%
2週間に1回程度	6.2%	9.2%	10.1%	7.0%	10.5%	8.7%
1か月に1回程度	15.0%	16.4%	11.0%	16.4%	15.9%	15.1%
数か月に1回程度	35.2%	32.8%	38.5%	37.7%	31.8%	35.1%
鉄道は利用しない	10.9%	11.8%	8.3%	13.1%	8.8%	10.6%

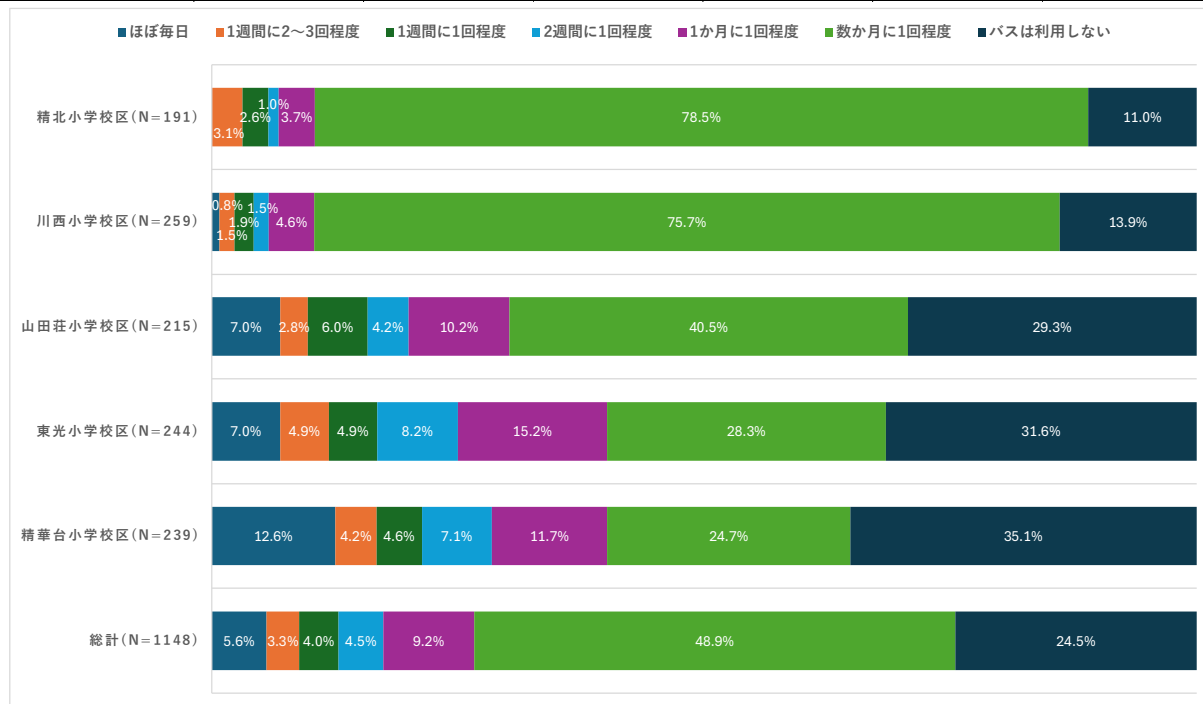


鉄道利用頻度を小学校区別にみると、すべての小学校区において「数か月に1回程度」が最も多くなっています。

また、すべての小学校区において「ほぼ毎日」が2番目に多くなっていますが、特に「精北小学校区」及び「精華台小学校区」では、「ほぼ毎日」が20%を超えており、他の小学校区よりも利用頻度は高い傾向にあります。

3). N10_バスの利用頻度

	精北小学校区 (n=191)	川西小学校区 (n=259)	山田荘小学校 区(n=215)	東光小学校区 (n=244)	精華台小学校 区(n=239)	総計(n=1148)
ほぼ毎日	0.0%	0.8%	7.0%	7.0%	12.6%	5.6%
1週間に2～3回程度	3.1%	1.5%	2.8%	4.9%	4.2%	3.3%
1週間に1回程度	2.6%	1.9%	6.0%	4.9%	4.6%	4.0%
2週間に1回程度	1.0%	1.5%	4.2%	8.2%	7.1%	4.5%
1か月に1回程度	3.7%	4.6%	10.2%	15.2%	11.7%	9.2%
数か月に1回程度	78.5%	75.7%	40.5%	28.3%	24.7%	48.9%
バスは利用しない	11.0%	13.9%	29.3%	31.6%	35.1%	24.5%

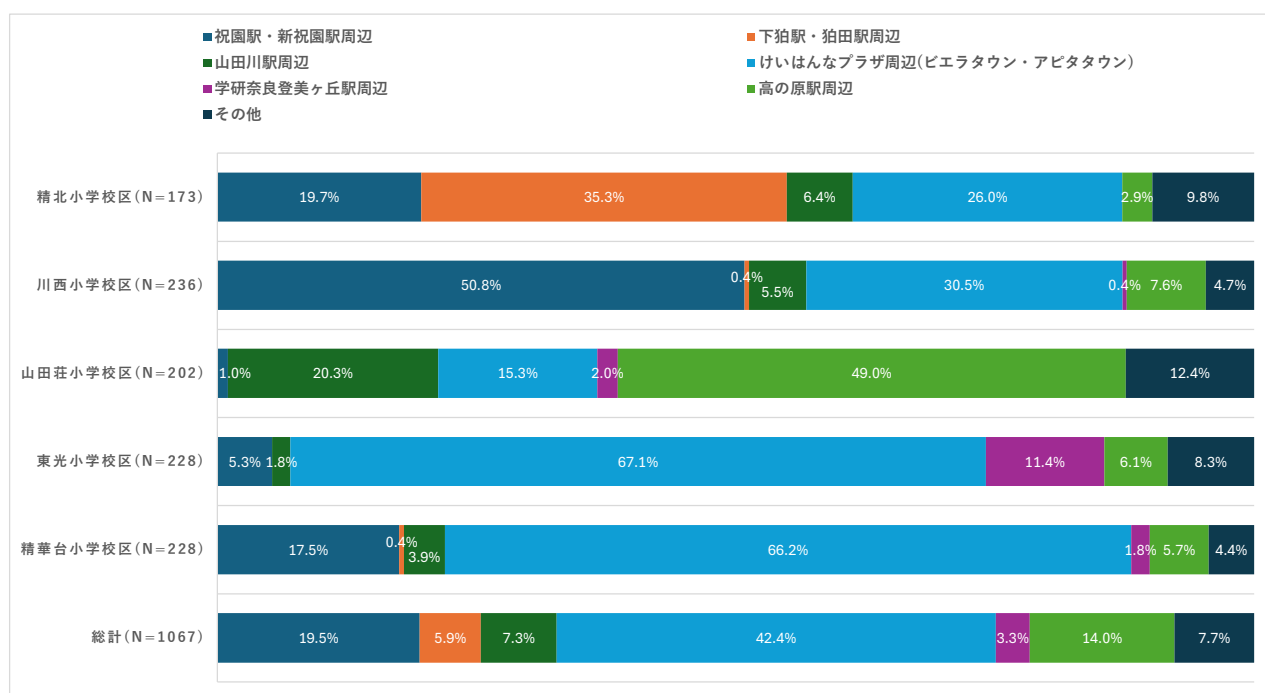


バス利用頻度を小学校区別にみると、「精北小学校区」、「川西小学校区」、「山田荘小学校区」において「数か月に1回程度」が最も多くなっています。

また、「東光小学校区」、「精華台小学校区」については、バスの利用頻度が他の3校区よりも大きい一方で、バスを利用しない割合が多くなっており、地域で差があるだけでなく、同じ地域内でもバスの利用が二極化している傾向が伺えます。

4). N011_利用する施設の所在地（食料品・日用品店舗（スーパー等））

	精北小学校区 (n=173)	川西小学校区 (n=236)	山田荘小学校 区(n=202)	東光小学校区 (n=228)	精華台小学校 区(n=228)	総計(n=1067)
祝園駅・新祝園駅周辺	19.7%	50.8%	1.0%	5.3%	17.5%	19.5%
下狛駅・狛田駅周辺	35.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	5.9%
山田川駅周辺	6.4%	5.5%	20.3%	1.8%	3.9%	7.3%
けいはんなプラザ周辺(ビエラタウン・アビタタウン)	26.0%	30.5%	15.3%	67.1%	66.2%	42.4%
学研奈良登美ヶ丘駅周辺	0.0%	0.4%	2.0%	11.4%	1.8%	3.3%
高の原駅周辺	2.9%	7.6%	49.0%	6.1%	5.7%	14.0%
その他	9.8%	4.7%	12.4%	8.3%	4.4%	7.7%

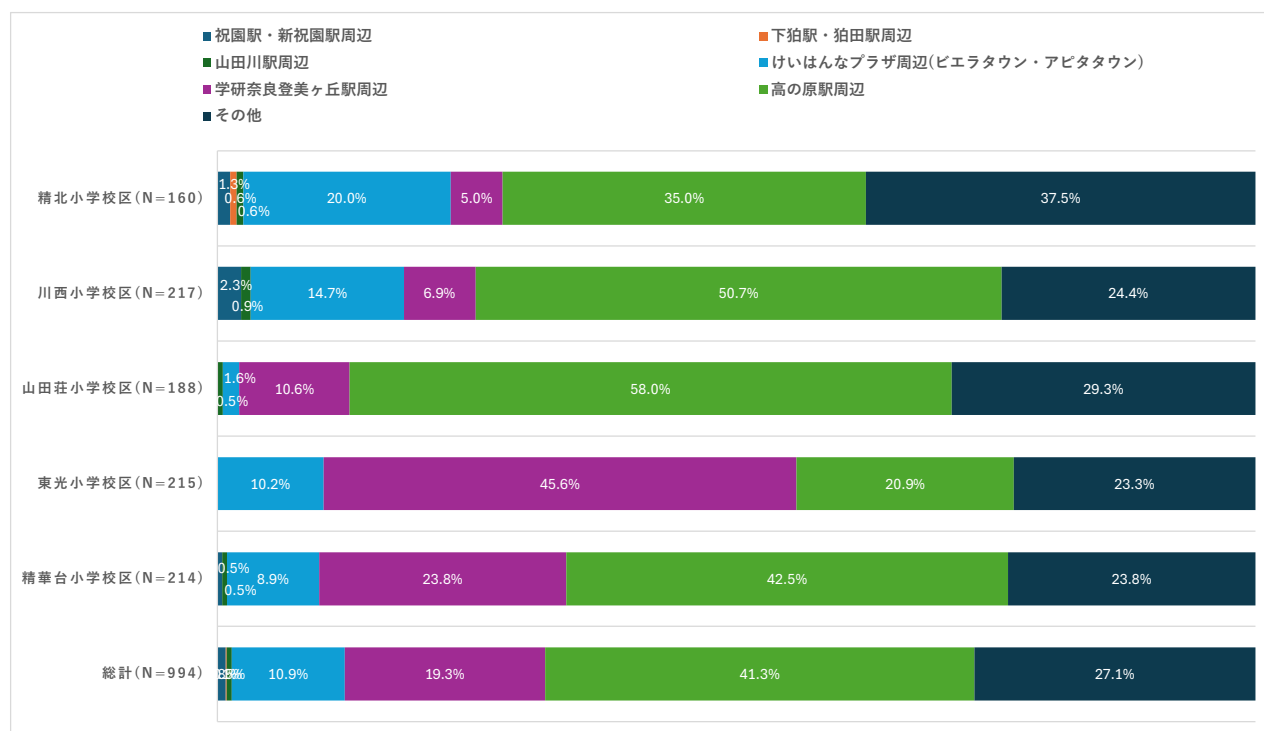


「食料品・日用品店舗（スーパー等）」を目的施設とした際の小学校区別の行先をみると、「精北小学校区」は「下狛駅・狛田駅周辺」が 35.3%、「川西小学校区」は「祝園駅・新祝園駅周辺」が 50.8%、「山田荘小学校区」は「高の原駅周辺」が 49.0%で最も多くなっています。

一方で、「東光小学校区」及び「精華台小学校区」は「けいはんなプラザ周辺(ビエラタウン・アビタタウン)」の施設利用が多くなっており、その他の小学校区と異なり、2 つの小学校区が一体的に生活圏域を形成していると考えられます。

5). N011_利用する施設の所在地（家電や家具等の専門店（大型ショッピングセンター等））

	精北小学校区 (n=160)	川西小学校区 (n=217)	山田荘小学校 区(n=188)	東光小学校区 (n=215)	精華台小学校 区(n=214)	総計(n=994)
祝園駅・新祝園駅周辺	1.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%
下狛駅・狛田駅周辺	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
山田川駅周辺	0.6%	0.9%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%
けいはんなプラザ周辺(ピエラタウン・アピタタウン)	20.0%	14.7%	1.6%	10.2%	8.9%	10.9%
学研奈良登美ヶ丘駅周辺	5.0%	6.9%	10.6%	45.6%	23.8%	19.3%
高の原駅周辺	35.0%	50.7%	58.0%	20.9%	42.5%	41.3%
その他	37.5%	24.4%	29.3%	23.3%	23.8%	27.1%



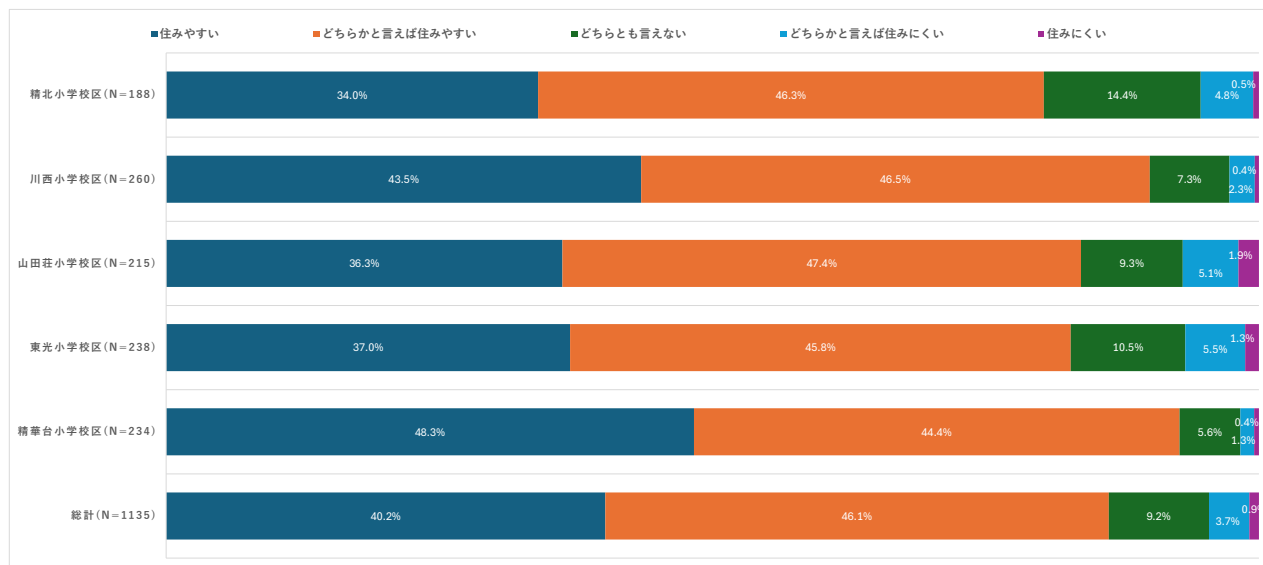
「家電や家具等の専門店（大型ショッピングセンター等）」を目的施設とした際の小学校区別の行先をみると、「精北小学校区」、「川西小学校区」、「山田荘小学校区」、「精華台小学校区」は「高の原駅周辺」の施設を利用しているとの回答が多い傾向となっています。

一方で、「東光小学校区」は「学研奈良登美ヶ丘駅周辺」が多い回答となっています。

【No11_利用する施設の所在地（食料品・日用品店舗（スーパー等））】では、近隣の生活利便施設を利用している傾向にありましたが、大型家電製品等を購入する際は、精華町外での利用が顕著になっています。

6). N012_現在の住みやすさ

	精北小学校区 (n=188)	川西小学校区 (n=260)	山田荘小学校区 (n=215)	東光小学校区 (n=238)	精華台小学校区 (n=234)	総計(n=1135)
住みやすい	34.0%	43.5%	36.3%	37.0%	48.3%	40.2%
どちらかと言えば住みやすい	46.3%	46.5%	47.4%	45.8%	44.4%	46.1%
どちらとも言えない	14.4%	7.3%	9.3%	10.5%	5.6%	9.2%
どちらかと言えば住みにくい	4.8%	2.3%	5.1%	5.5%	1.3%	3.7%
住みにくい	0.5%	0.4%	1.9%	1.3%	0.4%	0.9%

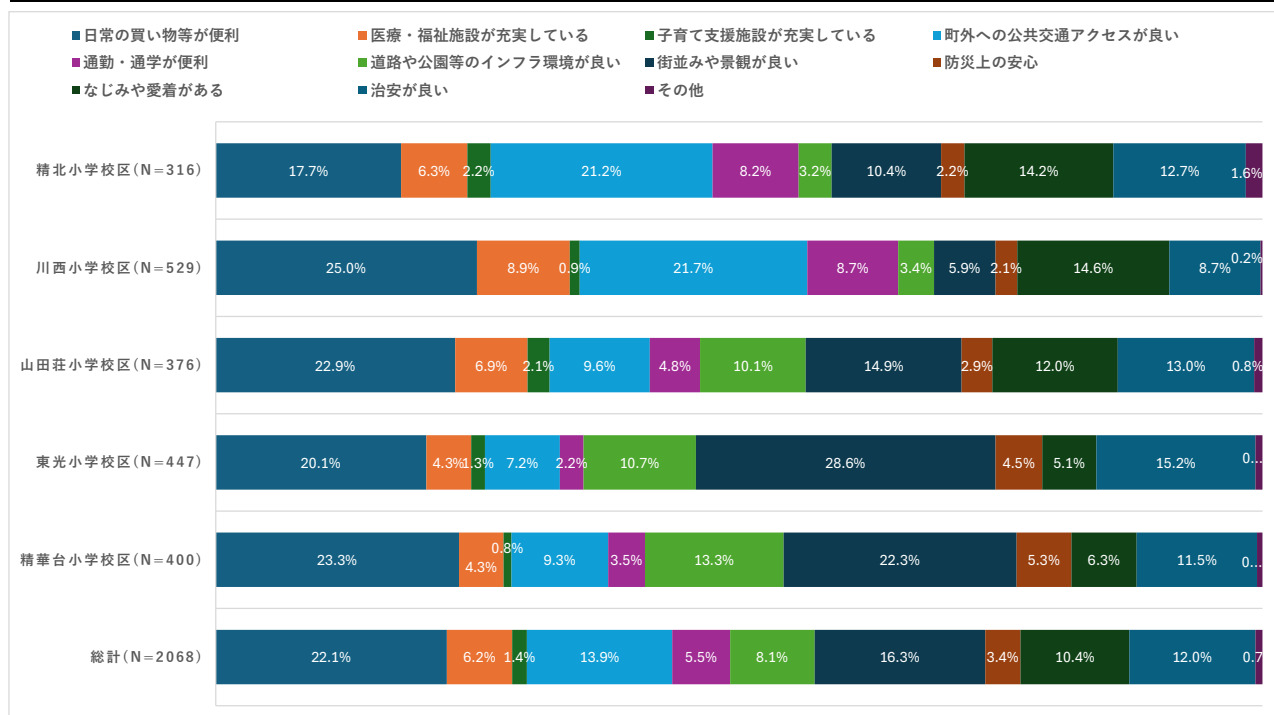


「現在の住みやすさ」について「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の肯定的な意見がどの小学校区でも7割以上を超えており、非常に多い傾向となっています。

特に、「精華台小学校区」においては「住みやすい」が5割近い回答であり、生活しやすい環境が整っていると考えられます。

7). N013_「現在の住みやすさ」への評価の理由：良い点

	精北小学校区 (n=316)	川西小学校区 (n=529)	山田荘小学校 区(n=376)	東光小学校区 (n=447)	精華台小学校 区(n=400)	総計(n=2068)
日常の買い物等が便利	17.7%	25.0%	22.9%	20.1%	23.3%	22.1%
医療・福祉施設が充実している	6.3%	8.9%	6.9%	4.3%	4.3%	6.2%
子育て支援施設が充実している	2.2%	0.9%	2.1%	1.3%	0.8%	1.4%
町外への公共交通アクセスが良い	21.2%	21.7%	9.6%	7.2%	9.3%	13.9%
通勤・通学が便利	8.2%	8.7%	4.8%	2.2%	3.5%	5.5%
道路や公園等のインフラ環境が良い	3.2%	3.4%	10.1%	10.7%	13.3%	8.1%
街並みや景観が良い	10.4%	5.9%	14.9%	28.6%	22.3%	16.3%
防災上の安心	2.2%	2.1%	2.9%	4.5%	5.3%	3.4%
なじみや愛着がある	14.2%	14.6%	12.0%	5.1%	6.3%	10.4%
治安が良い	12.7%	8.7%	13.0%	15.2%	11.5%	12.0%
その他	1.6%	0.2%	0.8%	0.7%	0.5%	0.7%



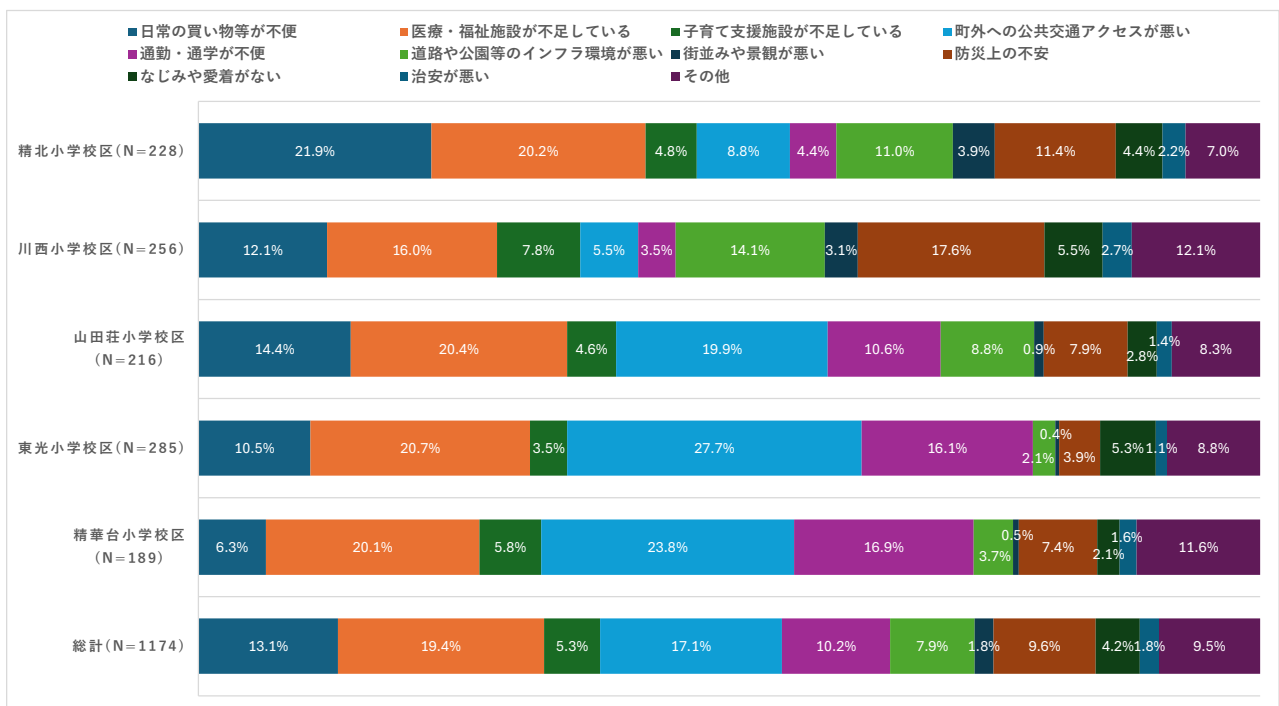
「現在の住みやすさ」への評価の理由について「良い点」を小学校区別にみると、「精北小学校区」では「町外への公共交通アクセスが良い」が21.2%、「川西小学校区」では「日常の買い物等が便利」が25.0%、「山田荘小学校区」では「日常の買い物等が便利」が22.9%、「東光小学校区」では「街並みや景観が良い」が28.6%、「精華台小学校区」では「日常の買い物等が便利」が23.3%で最も多くなっています。

また、「日常の買い物等が便利」の回答については、各小学校区ともに20%前後で概ね横並びですが、最も低い精北小学校区と最も高い川西小学校区では7.3%の差が生じています。

その他、学研開発に伴う新興住宅地が多くを占める山田荘小学校区、東光小学校区、精華台小学校区については、「道路や公園等のインフラ環境が良い」や「街並みや景観が良い」の回答が多い傾向となっています。

8). N014_「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点

	精北小学校区 (n=228)	川西小学校区 (n=256)	山田荘小学校 区(n=216)	東光小学校区 (n=285)	精華台小学校 区(n=189)	総計(n=1174)
日常の買い物等が不便	21.9%	12.1%	14.4%	10.5%	6.3%	13.1%
医療・福祉施設が不足している	20.2%	16.0%	20.4%	20.7%	20.1%	19.4%
子育て支援施設が不足している	4.8%	7.8%	4.6%	3.5%	5.8%	5.3%
町外への公共交通アクセスが悪い	8.8%	5.5%	19.9%	27.7%	23.8%	17.1%
通勤・通学が不便	4.4%	3.5%	10.6%	16.1%	16.9%	10.2%
道路や公園等のインフラ環境が悪い	11.0%	14.1%	8.8%	2.1%	3.7%	7.9%
街並みや景観が悪い	3.9%	3.1%	0.9%	0.4%	0.5%	1.8%
防災上の不安	11.4%	17.6%	7.9%	3.9%	7.4%	9.6%
なじみや愛着がない	4.4%	5.5%	2.8%	5.3%	2.1%	4.2%
治安が悪い	2.2%	2.7%	1.4%	1.1%	1.6%	1.8%
その他	7.0%	12.1%	8.3%	8.8%	11.6%	9.5%

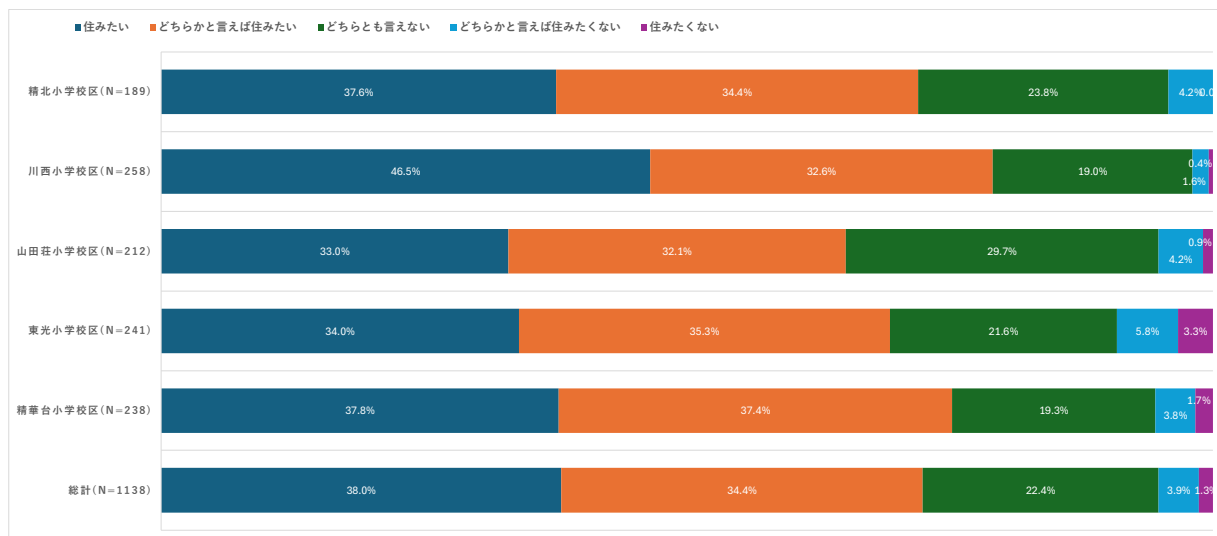


「現在の住みやすさ」への評価の理由について「悪い点」を小学校区別にみると、「精北小学校区」では「日常の買い物等が不便」が21.9%、「川西小学校区」では「防災上の不安」が17.6%、「山田荘小学校区」では「医療・福祉施設が不足している」が20.4%、「東光小学校区」では「町外への公共交通アクセスが悪い」が27.7%、「精華台小学校区」では「町外への公共交通アクセスが悪い」が23.8%で最も多くなっています。

「東光小学校区」及び「精華台小学校区」は、路線バス及び精華くるりんバスによる公共交通ネットワークは整備されているものの、鉄道駅が近隣にないため、「町外への公共交通アクセスが悪い」という回答が多い傾向になったと考えられます。

9). N015_20 年後の定住意向

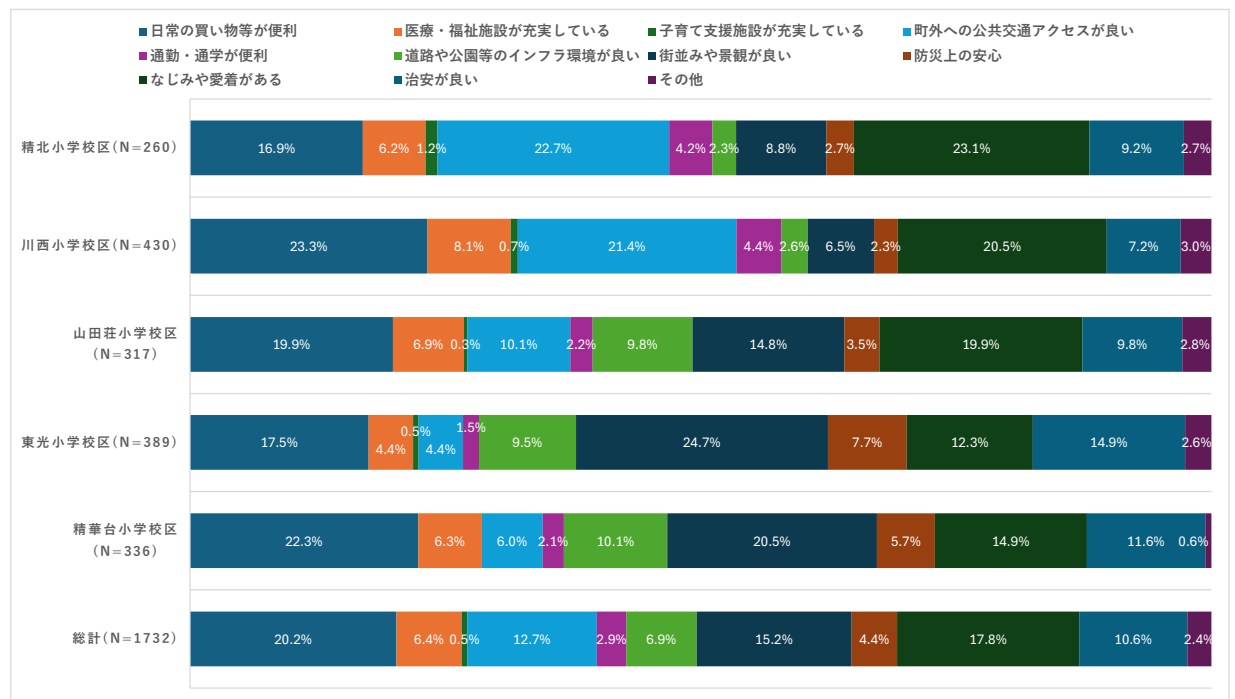
	精北小学校区 (n=189)	川西小学校区 (n=258)	山田荘小学校区 (n=212)	東光小学校区 (n=241)	精華台小学校区 (n=238)	総計(n=1138)
住みたい	37.6%	46.5%	33.0%	34.0%	37.8%	38.0%
どちらかと言えば住みたい	34.4%	32.6%	32.1%	35.3%	37.4%	34.4%
どちらとも言えない	23.8%	19.0%	29.7%	21.6%	19.3%	22.4%
どちらかと言えば住みたくない	4.2%	1.6%	4.2%	5.8%	3.8%	3.9%
住みたくない	0.0%	0.4%	0.9%	3.3%	1.7%	1.3%



「20 年後の定住意向」について「住みたい」と「どちらかと言えば住みたい」の肯定的な意見がどの小学校区でも 6 割を超えており、多い傾向となっていますが、その中でも、「川西小学校区」が他の小学校区よりも特に高い結果となっています。

10). N016_「20 年後の定住意向」への評価の理由：良い点

	精北小学校区 (n=260)	川西小学校区 (n=430)	山田荘小学校 区(n=317)	東光小学校区 (n=389)	精華台小学校 区(n=336)	総計(n=1732)
日常の買い物等が便利	16.9%	23.3%	19.9%	17.5%	22.3%	20.2%
医療・福祉施設が充実している	6.2%	8.1%	6.9%	4.4%	6.3%	6.4%
子育て支援施設が充実している	1.2%	0.7%	0.3%	0.5%	0.0%	0.5%
町外への公共交通アクセスが良い	22.7%	21.4%	10.1%	4.4%	6.0%	12.7%
通勤・通学が便利	4.2%	4.4%	2.2%	1.5%	2.1%	2.9%
道路や公園等のインフラ環境が良い	2.3%	2.6%	9.8%	9.5%	10.1%	6.9%
街並みや景観が良い	8.8%	6.5%	14.8%	24.7%	20.5%	15.2%
防災上の安心	2.7%	2.3%	3.5%	7.7%	5.7%	4.4%
なじみや愛着がある	23.1%	20.5%	19.9%	12.3%	14.9%	17.8%
治安が良い	9.2%	7.2%	9.8%	14.9%	11.6%	10.6%
その他	2.7%	3.0%	2.8%	2.6%	0.6%	2.4%

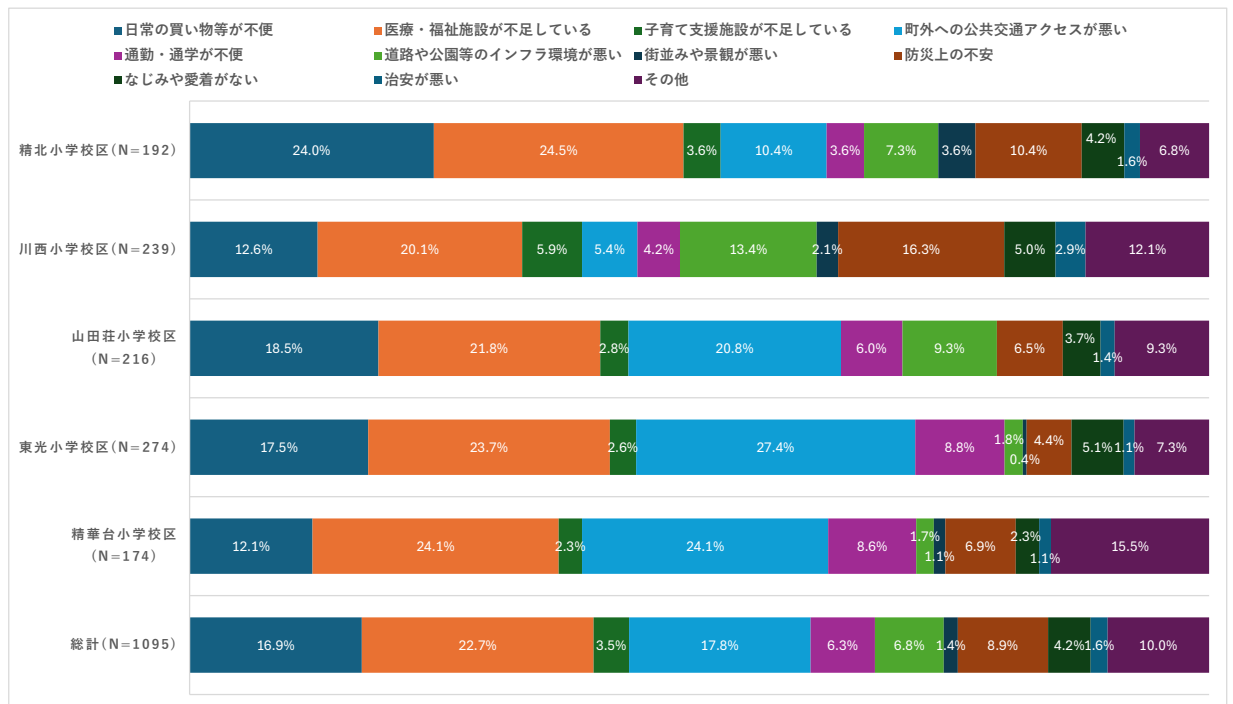


20 年後の継続居住意向について「良い点」を小学校区別にみると、「精北小学校区」では「なじみや愛着がある」が 23.1%、「川西小学校区」では「日常の買い物等が便利」が 23.3%、「山田荘小学校区」では「日常の買い物等が便利」及び「なじみや愛着がある」が同率で 19.9%、「東光小学校区」では「街並みや景観が良い」が 24.7%、「精華台小学校区」では「日常の買い物等が便利」が 22.3%で最も多くなっています。

また、「精北小学校区」及び「川西小学校区」では「町外への公共交通アクセスが良い」との回答が、「精華台小学校区」は「街並みや景観が良い」との回答が、それぞれ多い傾向となっています。

11). N017_「20年後の定住意向」への評価の理由：悪い点

	精北小学校区 (n=192)	川西小学校区 (n=239)	山田荘小学校 区(n=216)	東光小学校区 (n=274)	精華台小学校 区(n=174)	総計(n=1095)
日常の買い物等が不便	24.0%	12.6%	18.5%	17.5%	12.1%	16.9%
医療・福祉施設が不足している	24.5%	20.1%	21.8%	23.7%	24.1%	22.7%
子育て支援施設が不足している	3.6%	5.9%	2.8%	2.6%	2.3%	3.5%
町外への公共交通アクセスが悪い	10.4%	5.4%	20.8%	27.4%	24.1%	17.8%
通勤・通学が不便	3.6%	4.2%	6.0%	8.8%	8.6%	6.3%
道路や公園等のインフラ環境が悪い	7.3%	13.4%	9.3%	1.8%	1.7%	6.8%
街並みや景観が悪い	3.6%	2.1%	0.0%	0.4%	1.1%	1.4%
防災上の不安	10.4%	16.3%	6.5%	4.4%	6.9%	8.9%
なじみや愛着がない	4.2%	5.0%	3.7%	5.1%	2.3%	4.2%
治安が悪い	1.6%	2.9%	1.4%	1.1%	1.1%	1.6%
その他	6.8%	12.1%	9.3%	7.3%	15.5%	10.0%



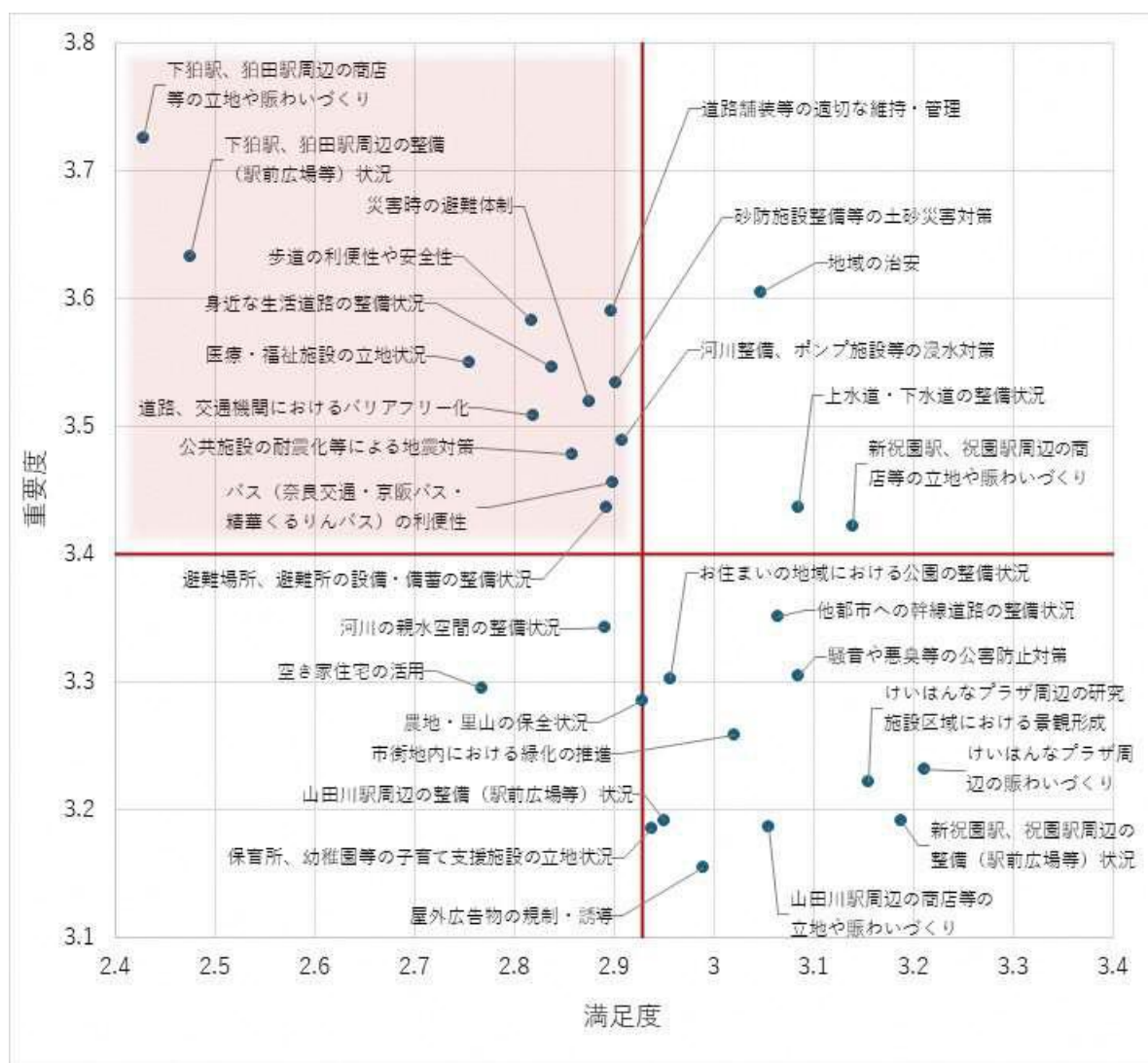
20年後の継続居住意向について「悪い点」を小学校区別にみると、「精北小学校区」では「医療・福祉施設が不足している」が24.5%、「川西小学校区」では「医療・福祉施設が不足している」が20.1%、「山田荘小学校区」では「医療・福祉施設が不足している」が21.8%、「東光小学校区」では「町外への公共交通アクセスが悪い」が27.4%、「精華台小学校区」では「医療・福祉施設が不足している」及び「町外への公共交通アクセスが悪い」が同率で24.1%と最も多くなっています。

また、【No14_「現在の住みやすさ」への評価の理由：悪い点】の結果と比べると、いずれの小学校区においても「日常の買い物等が不便」の回答が増加しており、その中でも、「東光小学校区」では回答の増え幅が最も大きくなっています（10.5%→17.5%）。

その他、「東光小学校区」、「精華台小学校区」では、町外への公共交通アクセスを改善してほしいという回答が多いために、京阪奈新線延伸等の早期実現を望む声が多くなっていると考えられます。

(3). 満足度と重要度のクロス集計

1). N018_精北小学校区

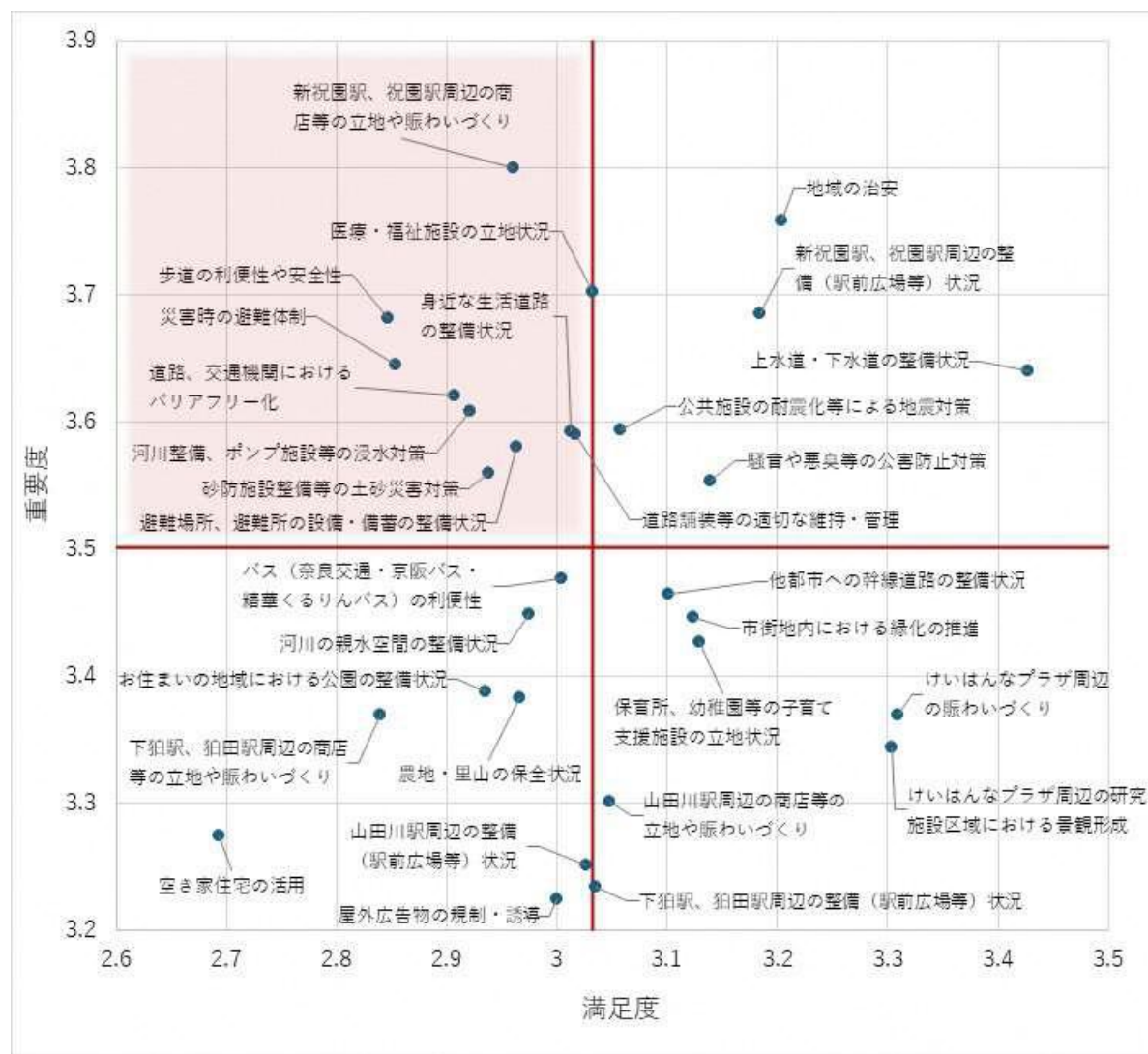


※図中の左上のエリア（赤色ハッチのエリア）は、現在の満足度が低く、今後の重要度が高いことから、当該校区の住民にとって、早期の改善を求めている項目であると考えられます。

「精北小学校区」では、最も改善を求めている項目として、「下粕駅、粕田駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」が挙げられている他、「下粕駅、粕田駅周辺の整備（駅前広場等）の状況」も改善を求める傾向にあります。

「精北小学校区」の住民は、下粕駅及び粕田駅周辺のまちづくりに関する回答が多いことから、駅周辺の利便性や利活用を検討していく必要があると言えます。

2). N018_川西小学校区

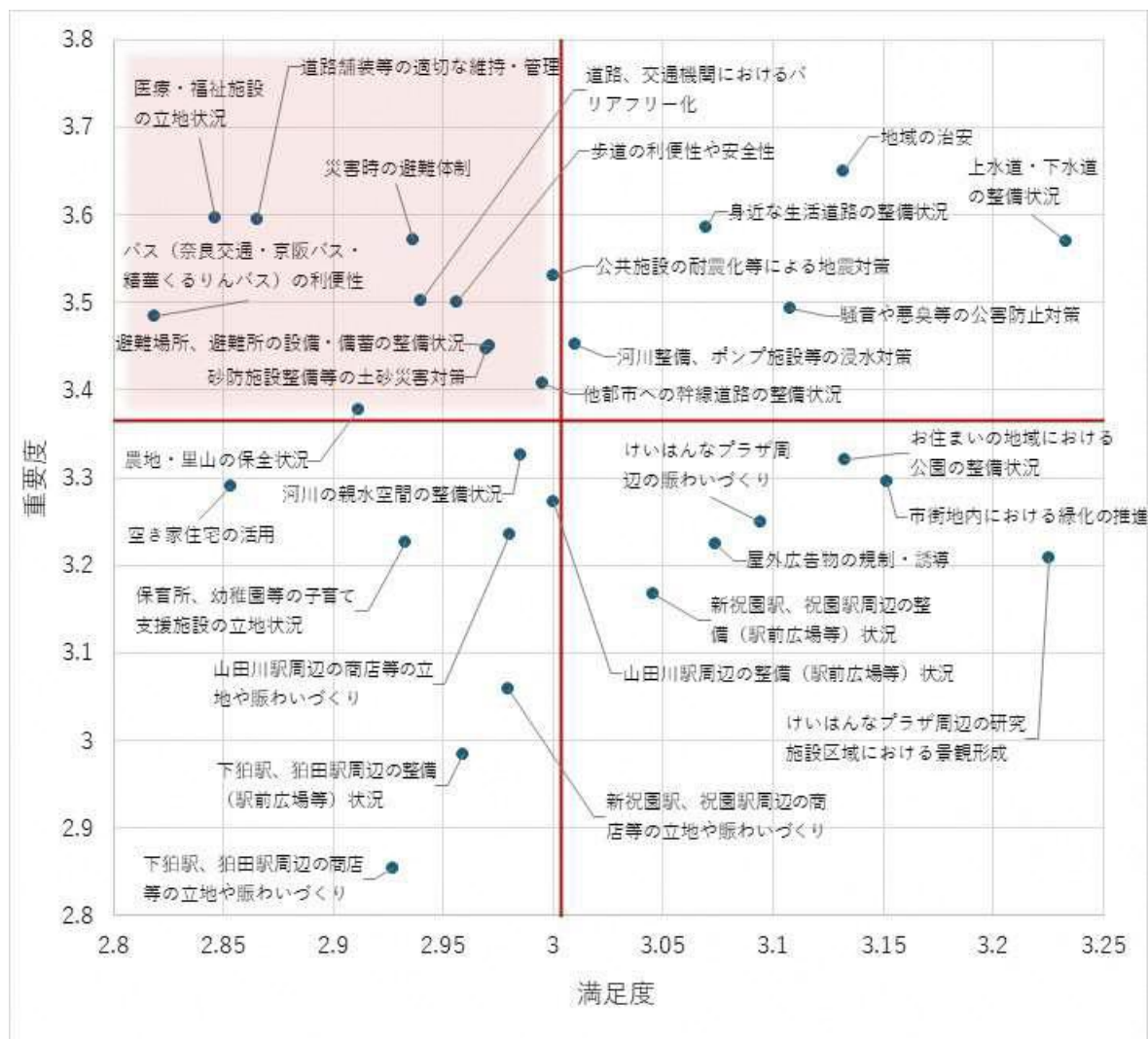


「川西小学校区」では、最も改善を求めている項目として、「新祝園駅、祝園駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」が挙げられています。

また、「歩道の利便性や安全性」や「災害時の避難体制」も改善を求める傾向にあります。

「川西小学校区」では、浸水想定区域に指定されているエリアも多いことから、災害時の備えに不安があると感じている住民が多い傾向が伺え、避難体制の構築等、防災指針の検討を深めていく必要があると考えます。

3). N018_山田荘小学校区

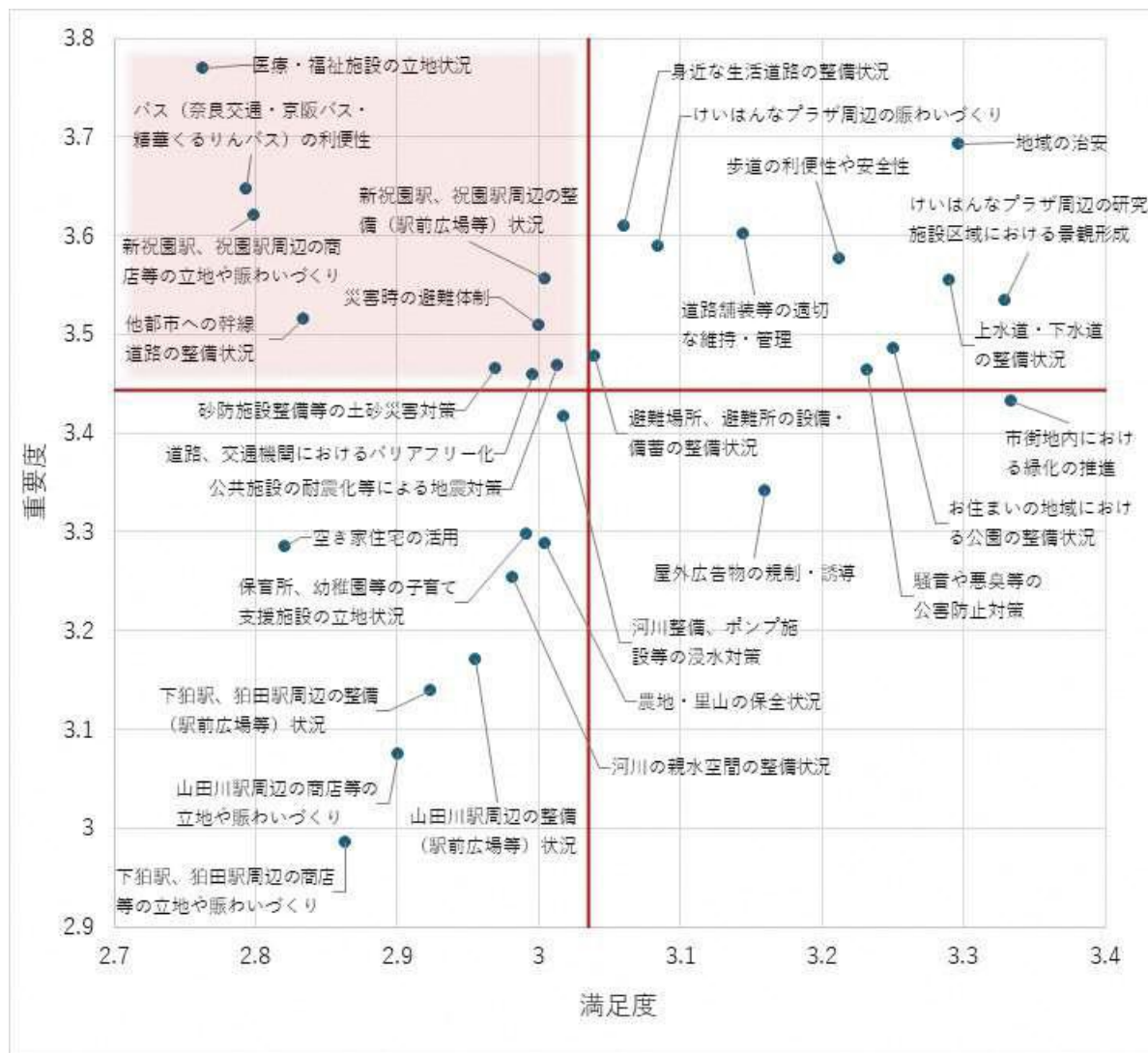


「山田荘小学校区」では、最も改善を求めている項目として、「医療・福祉施設の立地状況」が挙げられています。

また、「道路舗装等の適切な維持・管理」や「バス（奈良交通・京阪バス・精華くるりんバス）の利便性」も改善を求める傾向にあります。

「山田荘小学校区」の住民は、木津川市（高の原駅）との関係も深いことが他の項目で現れているため、そのことも一定踏まえながら、まちづくりの方針を検討していく必要があります。

4). N018_東光小学校区

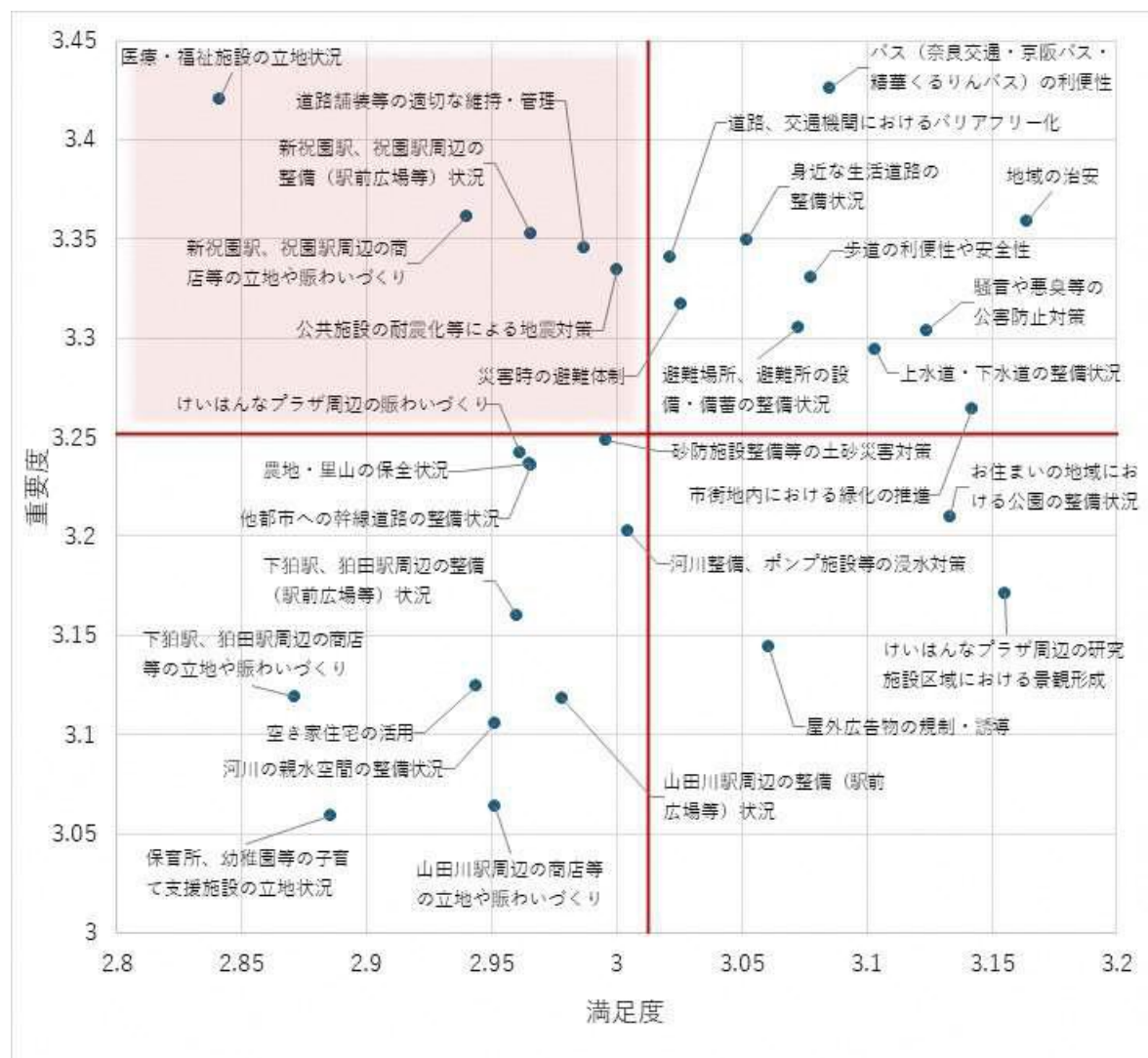


「東光小学校区」では、最も改善を求めている項目として、「医療・福祉施設の立地状況」が挙げられています。

また、「バス（奈良交通・京阪バス・精華くるりんバス）の利便性」や「新祝園駅、祝園駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」も改善を求める傾向にあります。

「東光小学校区」の回答には、別の小学校区である新祝園駅及び祝園駅周辺のまちづくりに関する回答が多いことから、町の発展を遂げていくためには、祝園駅周辺の賑わい空間の活性化が必要であると考えている可能性が高いと考えられます。

5). N018_精華台小学校区



「精華台小学校区」では、最も改善を求めている項目として、「医療・福祉施設の立地状況」が挙げられています。

また、「新祝園駅、祝園駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」や「新祝園駅、祝園駅周辺の整備（駅前広場等）状況」も改善を求める傾向にあります。

「精華台小学校区」においても、別の小学校区である新祝園駅及び祝園駅周辺のまちづくりに関する回答が多いことから、町の発展を遂げていくためには、祝園駅周辺の賑わい空間の活性化が必要であると考えている可能性が高いと考えられます。